

施設見学で改めて分別の必要性を感じました

宮前区廃棄物減量指導員連絡協議会の主催で減量指導員33名の参加を得て、9月29日にペトリファインテクノロジー㈱と浮島埋立事業所を見学しました。ペトリファインテクノロジー㈱は使用済みペットボトルをペットボトルにリサイクルしています。「キャップやラベルは付いたままのものが多い」と施設内で現物を見せられて説明されると減量指導員さんから「分別はしっかりしないと！」の声があがりました。

浮島埋立事業所は家庭ごみを焼却場で燃やした後の焼却灰を埋め立てていますが、運ばれてきた焼却灰の中に針金状・板状の金属が混じっていて選り分けられていました。

ここでも「分別はしっかりしないと！」の声があがりました。

「この施設見学で改めて分別の必要性を感じました。今後一層身を入れて指導したいと思います」との感想をいただきました。



学童が作ったポスターがごみ減量に一役

出前ごみスクールの学習成果としてごみの適正排出・減量の啓発ポスターを平小の学童に作ってもらいました。生活環境事業所でラミネート加工して濡れても大丈夫なポスターに仕上げました。そのポスターを平日影自治会の役員・廃棄物減量指導員が地域のごみ置き場に貼付しました。学童・地域・行政のごみ減量・環境美化を願う心が込められた協同作業が完成しました。



新聞・雑誌・ダンボールは大切な資源です。
資源集団回収を始め、大切な資源をリサイクルしましょう



資源集団回収に協力してください

紙類は家庭ごみの4割を占めますが、新聞・雑誌・段ボール・牛乳パックは資源集団回収によりリサイクルされます。資源集団回収へのご協力をお願いします。

なお、平成23年1月からはそれ以外の紙類をミックスペーパーとして収集・リサイクルする予定ですのでその際は紙類のほとんどはリサイクルされることとなります。

長沢自治会では、この7月から資源集団回収を始めましたが、自治会の役員・廃棄物減量指導員の方たちからお話を伺うことができました。右の「資源集団回収のはじめ方」とあわせて、これから資源集団回収を始める際の参考にしてください。

資源集団回収を始めようとしたきっかけは、「生活環境事業所の推進担当とごみ置き場について相談しているときにこの制度を知った」とのことです。

まだまだ、市による広報が足りないと反省しております。

実施に至るまでは「2月から6月まで4ヶ月かかったが、自治会の会合を何回か開き、業者との打合せは頻繁に行った。特に回収場所については、業者と一緒に回るなどして念入りに打合せをした」と伺いました。

「まずは資源集団回収の第1歩を踏み出したところ、対象品目を増やすなど、これから改善すべきところは改善して充実させていきたい！」と心強いお言葉をいただきました。

資源集団回収のはじめ方

実施について相談しましょう。

回収品目や回収日・回収場所等、具体的に協力世帯の方々や資源集団回収登録業者とよく打ち合わせてください。
※川崎市資源集団回収事業登録業者以外の業者による回収は、奨励金が交付されません。

役割を決めましょう。

団体の代表者を決め、(例：町内会長、PTA会長、管理組合理事長など)回収場所での立ち会い、回収の確認者、協力世帯への広報・周知、奨励金の申請、会計など役割を明確にして、団体内で分担しましょう。

団体として登録しましょう。

川崎市資源集団回収事業登録団体登録届出書に必要事項を記入し、当該団体に係る回収場所を明示した地図等を添えて、川崎市環境局生活環境部廃棄物政策担当へ郵送してください。

いよいよ 資源集団回収の実施です



今後とも廃棄物減量指導員さんの活動に参考になる記事を掲載していきたいと思っております。
ご意見・ご要望がありましたら事務局までお寄せください。

宮前区廃棄物減量指導員連絡協議会事務局

宮前生活環境事業所推進担当

川崎市宮前区宮崎172

電話044-866-9131 ファックス044-857-7045